



ぴっぴだより

No.3 2015.5.29

5月の連休を明けると森に緑が増え、遠くまで見通せなくなってきました。いよいよ森に春が来た…!と文喜しい反面、子どもたちの声はすずけど姿は見えない…。「あれ?どんぶりさんは全員いけるから?」と何度、石巻確認したことでしょう。どんぶりさんの保育時間が延びおおきい人たちがちいさい人の様子を気にしたり、おまごとを一緒に楽しんでいたり、どんぶりさんがぴっぴの生活にも慣れ、自分で遊びをみつけて思う存分楽しむ姿に嬉しさを感じます。森だけでなく、ぴっぴの森付近の探索もどんぶりさんにとっては今必要は遊びのひとつなのですよ。「こまごまがぴっぴの森だよ」「こに行くと時は、大人に声をかけてね」と伝え続けています。何よりおおきい人たちがちいさい人本気に気にかけているのです。ある時、走るのが速い大夢くんがスタスタと森から出てしまった時、壱くんが大夢くんを追いかけ一緒に怪り込んで話しています。しばらくすると2人どしを飛ばして森に戻ってきました。「どんなお話をしたの?」と聞く「お母さんに会いたかったって。だからお母さんはごはんを食べて2時になったら来るって教えてあげた」と丁寧に話してくれました。これも毎年この時期恒例のおおきい人たちの気遣いが伝わるエピソードのひとつです。昨年この時期、入りたてのどんぶりさんを気づかうおおきい人の姿がありました。柵などのたより、広い森の中を過ごし、特別な遊具があるわけではなく、異年齢が一緒に生活し、遊び、関わる…。ぴっぴだからこゝろあの子ども同士のセリとリです。ぴっぴならではという「戦いごっこ」も思いきりできる遊びのひとつです。森中の遊び道具のひとつで魅力的な木の棒はコレクションしている人も多くは、毎日大切に持っているお気に入りの棒もあります。ある時、戦いごっこの最中、木公ほくりさんの棒が当たると泣いてしまった人がいました。狭い所で棒を振り回していたので当たったようです。危ないから戦いごっこは広い所でやろうという声かけをしましたが、それからまたすぐ泣き声が聞こえてきました。今度は棒で叩いてしまったようです。痛い思いをいたしましたことや大切な棒が友だちを叩くことに使われたことが悲しい事を伝えましたが、それで良かったのでしょうか。そして今度は自分の思いが伝わらなかつた拍子に棒を振りあげたのです。とっさに大玉は声をあげて「ちよとまって!」と制止してしまいました。その日も棒のトラブルは何度かありました。声をあげて制止することは何の解決にもならないや「どうして叩くの」「お友だちを叩いたらだめだよ」では叩いてしまった人の裏側に、興味にある理由を何にも解決できていないのです。どんなに会話が出来たりからといって自分の思いを必ず相手に伝えられる、言葉にできる年齢にはまだもうかかります。どんぶりさん、木公ほくりさんの年齢の人が物の取り合いや押したり、叩いたりする行動は言葉のイタワリの子ですよ。「叩かない」「押さない」「手をおすな」とは「しゃべらない」と言っていることと同じことなのです。また大切な棒はその人にとって自分の身を守る盾のような役目にもなっていました。おおきい人から何か強く言葉で伝えられた時や自分の思いを通したい、伝えたい時につい振り上げてしまうようでした。自分が叩いてしまって友だちが泣いてしまう経験も自分も棒が当たった痛かった経験も今のどんぶりさん、木公ほくりさんには大切なことなのです。だからそこにいる大人の声かけは大切なですよ。ケガをなるべくしないよう見守りつつ…。見守りた上でどんな声かけをするべきか…。自分の接し方、声かけ、タイミングが適切だったのか、その時その時日々考えています。

自分の遊ぶ場所を十分に探索し、遊ぶことのできる範囲を体で覚え、思いきり遊ぶこと。すべて思う存分にできるからこそ、学ぶことがたくさんあることを自然保育の中で私たちも学ぶことが出来ます。ぴっぴの人たちと日々学び、共に成長できた方がいいな…と、思います。

:美穂

おおきいくみだより

暑さを感ずる日が続き、帰りの会の絵本タイムではあくびも出る人も何人か…。ひたすら遊んでいるのだから一息つて無理もないですね。降園が2時に近づいたばかりのどんぶりさんがうとうと寝るものもあつて、遊びこめるいい季節に「おはれ」。

ひたすら遊ぶぴっぴの子どもたちは朝の会や帰りの会で来ていない人やスタッフを待っている間も、おおきいさん中心に子どもたちだけで「ワズ、ワズ!何のワズ!」「落ちたー何か落ちた!」とみんな楽しんでいました。「待つこと」を楽しむ時間を惜しむように関わっている姿はスタッフ以上のまとめる力を感ずります。

おおきいくみさんそれぞれの「ぼくの木 わたしの木」にも緑の葉が増えて風に揺れています。この一年「その木」をそれぞれが心で体で抱きしめながら見守っていきたいと思います。

4月生まれの武蔵くん、5月生まれの理央子ちゃんのお誕生日のお祝いをしました。武蔵くんへの「つもりのプレゼント」は?の人が多く「武蔵くんは足が速くてかっこいいね」「遊んでくれてありがとう」…と声をかけていました。お店に売っていないものや見えないもの、誕生児が喜ぶもの…少しづつ理解を深め、少しづつみんなの両手に「つもりのプレゼント」が乗るようになっていこう。理央子ちゃんには「魔法のスティック」「不思議な飴」…が贈られました。それを受け取る理央子ちゃんは、本当にその世界を楽しんでいて「わあ重い!ここに置いておこう」と横の切り株にみんなからもらったものを「ありがとう」と受け取り一つずつ置いていきます。私たちがそのプレゼントが見えるようにした。そしてお祝いの集りが終わると切り株の上の「つもりのプレゼント」を「おはれ! わあたくさんだから大変!」と持ち上げます。横にいたバ美ちゃんがかかす「手伝おうか?」「うん、まあこれお願い!」バ美ちゃんもだいたい受け取っています。そして二人で理央子ちゃんのバッグの所に置いておきました。松岡享子著「ササキの部屋」の一文を私は思い出しています。「幼い日にバからササキの存在を信じることは、その人の中に信じるという能力を養う…別にササキは限らない。魔法使いも妖精も鬼も仙人も動物も空飛ぶくつでも打虫の小植も岩戸をあげるお花も…! 幼い日にこれらのふしぎの住める空間を満ちたおてせりた!」二人のその空間に出会い、嬉しくなりました。:真弓

お知らせ

個人面談のお知らせ

ご家庭とひろびでの子ども達の様子を話し合いより深く理解し合うために下記のように個人面談を行います。お時間などの不都合がある場合はどなたかと交替していただきその旨をスタッフまでお知らせ下さい。

P.M.	6/8(月)	6/9(火)	6/10(水)	6/11(木)	6/12(金)
1:45 S 2:15					
2:15 S 2:45					
2:45 S 3:15					
3:15 S 3:45					

- ・面談中
- ・降園後
時間に
早く到

ひろびの森の健診

初夏のひろびの森で園医の根津純子Dr.(かろいざわ純クリニック)による健診を行います。きっと怖がらずに受けることができるでしょう。

日時 6月3日(水) A.M. 9時15分~

健診内容 内診・触診

- ①登園時間に遅れないようにお願いします。
- ②当日内診しやすい衣類をご配慮下さい。
- ③根津純子Dr.にお聞きしたいことがありましたら事前にお知らせ下さい。
- ④お伝えすべきことがありましたらお知らせ頂けます場合は「健康診断の記録」に記入後お返しします。体重記録・押印後、ひろびにお戻し下さい。

小さな茶話会メンバー表(敬称略)

- ・6/24(水) 9時20分~ バイブルメインホールにて行います。

今月の予定

- ・6/10(水) くるみの日
- ・6/6(土) 森づくり(お泊り会後、ご無理のない方はお願いします)
- ・6/12(金) 26(金) ひろびの森解放日

おおきくおの予定

- ・アート 8日(月) 22日(月)
- ・ライジングワールド 15日(月)
- ・えりんこたいそう 17日(水)
- ・お料理 18日(木)
- ・田んぼ 29日(月)

◎田植えの代替えランチは

6月3日(水)です。お泊りは要りません。

- ◎大きいバッグの着がえセットのご協力をありがとうございます。それぞれにビニール袋を入れていただきと助かりました。
- ・おおくりくりにんは 25日(木) 電車の旅に出かけます。
- ・松原くりにんは ひろびの森で 通常保育です。

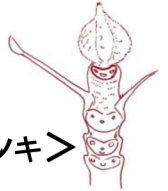
② 急なご報告ですが、

現在産休中の...は、埼玉へお引越移住のため、
退職されることになりました。

③ 田畑だより

田植え遠足、お疲れさまでした。お天気にも恵まれ、みんなの力でたくさん
苗を植えることができました。夕方西日に照らされてあつちを向いた24 倒れかたがり
色々の表情の苗たちは、かんはって大きくなるよと言っているかのように風にたびいて
いました。前の週に代かきと流しに運重か会を楽しんで、おあくり、くり、お公(ま)くりの
おあきくみはさすかの仕事ぶり。ご飯をおかわりして人はもう少し植えて下と
と声をかけたら、バラバラとあわてて戻って来た人のいましてね。どんぐり山の何人かは、
菅段ひろひであんまりに流しに三味しいても、大きな広い流し海のうた子田んぼは怖く
見えるのでしょ。11が自命からカエルを追いかけ入った子日を守りましょ。
無農薬で作っているこの田んぼは、これから雑草との草刈りの始まり。あつち間に
稲刈り草が伸びているので、夏までこまめに草刈りかまはしませね。
ひろひのポスト周りに新たに作っている畑では、ラテックスやカブが芽を出してトトヤ
干草ウリの苗も植えました。これから少しづつ豆などの作物を播き、きれいな
野菜の花も楽しみたいと思います。

：美和子



ひろひの森の仲間たち ~ 森の中でみつけてね! ~ <5月 オオカキノキ>

晴れた日には緑の梢から エゾハルゼミの音が賑やかに響く季節になりました。
その声を聞くのがはじめてのどんぶりさんたちも「アムか...聞=える!」「せみ? 鳴いて=ね」と空をみあげています。

10月であまり緑になった森にはあちこちに白い花が咲きはじめました。足元に
咲く小さな草の花も、木幹の花も圧倒的に白い花が多いです。「緑と白」という組み合わせは人の世界でも標識など目立つところに使われてはいますが、自然界の中
でも同じく虫たちの目に留まりやすいよう白い花を咲かせるのです。

そんな花たちのひとつ、今月紹介するのは「オオカキノキ」です。ちよとかわって
名前ですが、由来はその白い花ではなく、葉っぱから採りつけられました。
大きな虫の甲羅のように丸く、すじのしっかり入った葉の様子からついたそうす。
そしてアジサイのようにみえる白い花の周りの部分は「飾り花」といって、植物分類
上は花ではなくただの飾りで、実際の花の部分は中央の
小さな粒々のめだいたい部分です。実際の花だけでは
虫の目にとまらないので、大きな飾りをつけて目立つように
しているようです。

ただ自然に咲いているような花たちも、生き抜くために
いろいろ工夫をしているのです。そしておあめのき(秋
に赤い実をつけ、やがて冬にははしこりと王冠をかぶらている
ようなかわいらしい冬芽の姿)にふたりの春を待ちます。今年はおあきくみの子どもたち
のように自分の木をみつけて一年その変化を楽しんでみては...?

：菜々鬼



飾り花